



「本が好き 自分が好き 明日が好き」

心の東京革命

# 東京都子ども読書推進フォーラム開かれる

10月25日(土)と26日(日)の両日にかけて、「子ども読書フェスティバルTOKYO～東京都子ども読書推進フォーラム」が東京都庁都民ホール、都政ギャラリー及び上野公園で開催されました。

このフェスティバルは、子どもの読書活動の意義や重要性について、講演会やパネルディスカッション、ワークショップ、チャリティセール等を通じて広く都民に理解や関心を深めていただくために、東京都教育委員会と財団法人出版文化産業振興財団が共催したものです。

25日はノンフィクション作家の柳田邦男さんの「人生を豊かにする読書」と題する講演会とパネルディスカッション、26日は絵本作家の川端誠さんによる親子で楽しめる講演会「絵本をつくってよんでたのしんで」がありました。また、都政ギャラリーでは、親子読書地域文庫全国連絡会によるおはなしの会、科学読物研究会による本を使った科学遊び、布の絵本、さわる絵本等、世界のバリアフリー絵本の展示などが行われ、親子づれなど約1,000人が参加し、本の楽しさに触れる2日間となりました。



## TOPICS

東京都子ども読書活動推進事業の標語とシンボルマークを公募しました。

表題の「本が好き 自分が好き 明日が好き」は国分寺市の大門眞優子さん(小学校3年生)の作品、またシンボルマークは文京区の小池もとおさん(イラストレーター)の作品で、それぞれ最優秀賞に選ばれました。標語、シンボルマーク併せて513人の方から応募がありました。ご協力ありがとうございました。



## 親子ふれあい教室

### 秋の米長邦雄の親子ふれあい将棋教室

11月1日

#### 大好評だった羽生四冠とのリレー将棋

11月1日(土)、日本の伝統文化である将棋をとおして親子のふれあいを促進することを目的に「米長邦雄の親子のふれあい将棋教室」が都庁で開催され都内の親子109組、253人が参加しました。この教室は今回で4年目、8回を数えます。今年は「心の東京革命3周年」を記念して開かれた「東京の教育を考える都民のつどい」と同時に開催されました。

米長邦雄永世棋聖、羽生善治四冠を始め、10名のプロ棋士のみなさんが指導にあたってくださり、教室終了まで親子対局やプロ棋士との指導対局など熱戦が繰り広げられました。大好評は、50組の親子が羽生四冠と一はずつ対局するリレー対局でした。リレー対局は米長永世棋聖が見守る中、2回行われ、羽生四冠との手合わせに子どもたちも大満足の日でした。

毎年、この将棋教室は、社団法人日本将棋連盟と御蔵島村の全面的なご協力によって開催されていますが、今年も加えて、都立日比谷高等学校棋道部と芝中学・高等学校の将棋部の皆さんもボランティアとして協力いただきました。

晩秋の寒い一日でしたが、親子で将棋に挑戦しながら暖かい親子ふれあいのひと時を過ごしました。

